

Vol.1

美里町が〇〇な理由

わけ

今回は…

美里町で働くに注目!!

今、美里町では、人々のチャレンジや活躍を応援する新しい取組みがスタートしている。美里町だからできる丁寧なその取組みを、全6回で余すことなく紹介します。人が集まり、お互いが刺激しながら高め合える町。そんな美里町にあなたも来てみませんか？

今、目指すのは「起業しやすい町」

今年度中に運営をスタートする「起業家向け貸しオフィス」は「美里町で事業を始めたい」という方をバックアップするべく、シナリオオフィススペースを光熱費込み1万数千円という格安でお貸しするものです。現在は、美里町や遠田商工会、宮城大・地元金融機関、ハローワークなどによって組織された団体が整備が進められています。建物は2年前に閉校した「宮城理容美容専門学校」の実習棟を活用。区画は全部で17あり、可動式のパーティションで間仕切りし、冷暖房やエレベーターも完備しています。また建物の入口付近には共有スペースとして、ソファや起業関連の書籍を用意。打ち合わせや情報収集の場としての用途をイメージしています。

減・高齢化がかねてからの悩みでした。しかしこれをきっかけに「起業しやすい活動しやすい町」として広く認知され、様々な人が集うことで新しい産業が誕生し、町の魅力がアップし、ひいては誘客・定住者が増えることを期待しています。

御存知の通り、この一帯は農業が盛んです。米や野菜に加えて、大豆やナシ、また花卉類ではバラも特産品。こうした町の資源を、存分に活用してもらいたいと考えています。飲食店を開いたり、加工品を作ったりするのも良いでしょう。また、IT系の事業主とタッグを組んで、通信販売事業を行うのも良いかもしれません。この施設をフラットホームにして異業種同士が集い、おもしろい化学反応を起こしてもらえれば幸いです。

また「起業はしてみたいが、どう歩を踏み出せばよいかわからない」という方の背中を押すべく、起業セミナーも月1回ペースで開催しています。



ます。これまで2回実施し、第3回は11月18日（金）に予定しています。テーマは「商売に役立つデータの読み方」。WEBやテレビで見聞きする数字をマーケティングに落とし込むコツや視点を学びます。



美里町 相澤 清一町長

Profile●生年月日>1952年(昭和27年)8月13日
趣味>スポーツ観戦 特技>スキー 座右の銘>「至誠、天に通ず」

COMING SOON!!

「起業促進拠点施設」整備中!

現在美里町で整備が進む「起業促進拠点施設」。この場を拠点に仕事や活動をしながら、互いに刺激し合えるベースとしての成り立ちを目指す。ここで起きる出来事から、「何か美里町がおもしろいことを始めているな」という、人々を巻き込むムーブメントを作り上げていく。

施設概要

- 全17区画(管理室含む)
- 1区画あたり8㎡
- 利用料/月10,000円代(予定)※光熱費含む
- オープンスペースあり
- Wi-Fi完備

“美里町で働く”をイメージ!

起業セミナー開催!

9月からスタートした「起業セミナー」。起業したい人はもちろん、ビジネスの知識を得たい人、集まった人同士の交流を図りたい人などに向けた内容だ。今回はその第1回目となるセミナーを取材しました。

今回の講師は
こちら!

はたけやま しげあき
畠山 茂陽 さん

Profile●河北新報社販売局販売部(学び応援チーム) 兼 営業戦略室所属。'06年、仙台市青葉区にある産学官連携のコミュニティスペース「Five Bridge」を設立し、多種多様なネットワークのほか、様々なプロジェクトを生み出すきっかけを提供。仙台のコミュニティデザイン界の第一人者といえる。



9月23日(金)19:00~ 場所/遠田商工会 小牛田事業所
テーマ「地域のシゴトの芽を育む新聞活用法」

全6回開催される「起業セミナー」。初回は、河北新報社の畠山茂陽さんを講師に「新聞」を軸にした講義が行われた。参加したのは、新聞店を営む只野さん、町内でウェブ関連の仕事に従事しながら、ジャズコンサートへの参加やラジオ番組出演などの活動続ける門間さん。そして、旧小牛田町出身の女性ら、美里町内で仕事をする3名。「今の仕事に新しいアイデアを加えたい」「場所に左右されずに働くことの意義を知りたい」「趣味であるクラシック音楽を広めるヒントを得たい」など、参加へのきっかけは実に様々。講義の途中には、新聞記事の中から気になったものを互いに紹介するなど、一方的な講義ではなく双方向でその場を作り上げていくスタイルも取り入れ、終始和やかな雰囲気。小さなアイデアから大きな会話につながるきっかけが、どんどん生まれていくのが印象的だった。「自分の知らない情報を知ろうとする好奇心が、状況をより良くしていく近道だ」と語る畠山さんの言葉で講義は終了。新聞というアイテムから学ぶコミュニケーションの基本の「き」。そこで生まれた人と人との結びつきが、大きな起爆剤になるのだということを学べた1日となった。



セミナーは毎回「遠田商工会 小牛田事業所」で開催される。堅苦しくない雰囲気の中で生まれる会話の中から、様々なヒントが見つかるはず



畠山さんから「気になる記事から仕事に役立つアイデアに展開してみましょう」という提案が。小さな記事の奥にも創造の種は転がっている



地元の新聞店で働く只野さん。今回の参加のきっかけを、「新聞離れをどうにかできないか」と思い、何か得るものがあれば」と語る



「起業促進拠点施設」に興味を抱く門間さん。「この事業を一人ででも多く知ってもらって、たくさんの方に美里町に来てもらいたいですね」



聞けば「やりとりではなく、参加者とのやりとりを重ねながら進行する講義。さらに、交流者同士の距離が近いのもこのセミナーの魅力だ



「どんな方がこのセミナーに参加するのか楽しみでした」と語る町内に住む女性。畠山さんも舌を巻くような斬新なアイデアを発表していた

今回のセミナーを終えて



町内に住むSさん

興味があって来てみたのですが、想像以上に楽しめました。畠山さんの取組みも非常に面白かったですね。やりたいことやアイデアを持っている若い世代にこそ、もっともらえればいいと思います。また、このセミナーを知る機会自体が増えるとうれしいですね。



門間さん

非常におもしろかったです。畠山さんの話から「こんなものもありなんだ」という発見がありました。今の美里町には集まれる場所、想いを形にできる場所が必要かもしれません。まずは、この町の取組みを多くの人が知ることが大事なかな、と感じました。



只野さん

美里町にはシャイな人が多いのですが、コミュニティのつながりから様々な事業が生まれていく過程はとても魅力的ですね。今、駅東地区には被災地から来た方が多く住む新興住宅地があるのですが、地元の人々との交流が少ないんです。畠山さんの経験談で、人がつながる場の重要性を学びました。

NEXT SEMINAR

「商売に役立つデータの読み方」

日時 11月18日(金)19:00~
場所 遠田商工会 小牛田事業所
講師 株式会社東京商工リサーチ スタッフ

数値・データを正しく理解し、仕事に生かすスキルを高めるセミナー。現在、町内外を問わず、興味や関心がある方からの参加応募を受け付けている。

POINT

申込方法 下記内容に回答の上、FAX、E-mail、電話にて申込み

- ①氏名 ②住所 ③年代(A:10~20歳代 B:30歳代 C:40歳代 D:50歳代 E:60歳代以上)
④現在の職業(任意回答)
⑤現在の状況
(A:今後、起業を考えている B:起業して3年未満である)
(C:既に事業を行っている D:A~Cのどれでもない)

⑥連絡先(電話番号、もしくはE-mailアドレス)

⑦起業支援に関する情報提供希望
(今後、E-mailの配信によって、起業支援情報の提供を①希望する ②希望しない)

申込み先 美里町産業振興課商工観光課

FAX 0229-58-1216 (指定の申込用紙、もしくは送付紙面に申込内容を記載)

E-mail kanko@town.misato.miyagi.jp (申込内容をメール本文に記載)

TEL 0229-58-1296